

川崎市洪水ハザードマップ 川崎区版



「意識と準備が命を守る！」

洪水ハザードマップとは、河川が大雨によって氾濫した場合に、洪水浸水想定区域や避難場所を示したもので

川崎市
KAWASAKI CITY

我が家の防災メモ

ハザードマップを使って我が家の防災メモを完成させましょう!!

自宅の灾害リスク

● 地図を確認して、該当するところに○印を記入しましょう

	浸水無し	0.5m未満	0.5~3.0m未満	3.0~5.0m未満	5.0~10.0m未満	10.0~20.0m未満
洪水(多摩川水系)						
洪水(鶴見川水系)						
土砂災害警戒区域						

避難方法

● 「状況に応じた避難行動」を確認し、避難方法を確認しましょう

（洪水からの避難）
□ 屋内待機 □ 垂直避難 □ 立ち退き避難

避難場所と避難経路

● 避難方法が決まったら、避難場所と避難経路を確認しましょう



※避難場所と避難経路はそれぞれ複数決め、必要に応じて地図に書き込みましょう

非常持出品

● 非常持出品の保管場所は、家族のみんなで共有しましょう



みんなの約束

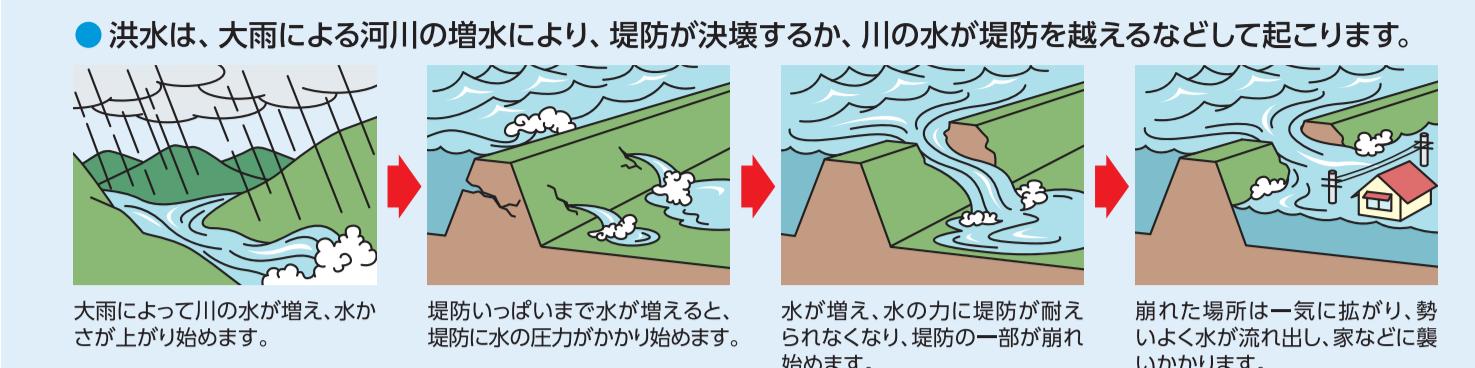
● 家族やご近所での約束事を記入しましょう



※避難に援護が必要な方など地域で協力しましょう

洪水から身をまもる

洪水発生のメカニズム



洪水浸水想定区域の考え方

- すべての破堤点（堤防が決壊すると想定したところ）について、どう氾濫し浸水するかを予想します。
- すべての予想結果を重ね合わせ、最大の区域と深さを表示しています。
- 実際は、それらの中限られた箇所が氾濫し、浸水区域が広がり、餘々に深くなります。

都市型水害について知る

- 大規模な洪水以外にも、都市は舗装された道路や宅地が多く、降った雨は地中に浸透していくため、川や水路、下水道と一緒に集まります。そのため、次のような危険がありますので注意しましょう。
 - 〈低地の水〉
 - ・低地や道路のアンダーパス^①では冠水が起こり、車が立ち往生し水没する危険があるため、通らないでください。
 - 〈地下への水〉
 - ・地下で浸水すると、
 - ① 水圧でドアが開かない
 - ② 水で流れ込む
 - ③ 外の様子が分からず逃げ遅れるなど、命に関わる危険があるため、早めの避難が必要です。
 - 〈中小川河川の増水氾濫〉
 - ・都市の河川は、急に増水し、流れが速くなり、氾濫するおそれがあります。
・誤って転落しないよう、大雨のときには近づかないでください。
 - 〈過去の浸水〉
 - ・過去に浸水があった所は、大雨のとき、ふたたび浸水するおそれがあります。
事前に確認し、避難の際はこのような所は避けましょう。
 - ・過去の浸水（浸水実績）については、川崎市防災ポータルサイトから確認できます。

洪水からの避難

- 洪水の危険が迫った際には、川崎市から対象の地域に避難を呼びかけます。
- お住まいの環境によって、適切な避難行動に違いがありますので、右ページの判断フローを参考に、ご自身の避難行動や避難先をあらかじめ検討しておきましょう。

避難に関する情報

避難準備・高齢者等避難開始

お年寄りや身体の不自由な方など、時間を使う方は避難を開始してください。その他の方は避難の準備を整えてください。

避難勧告

災害発生が予想される地域の方に避難を勧めるものです。

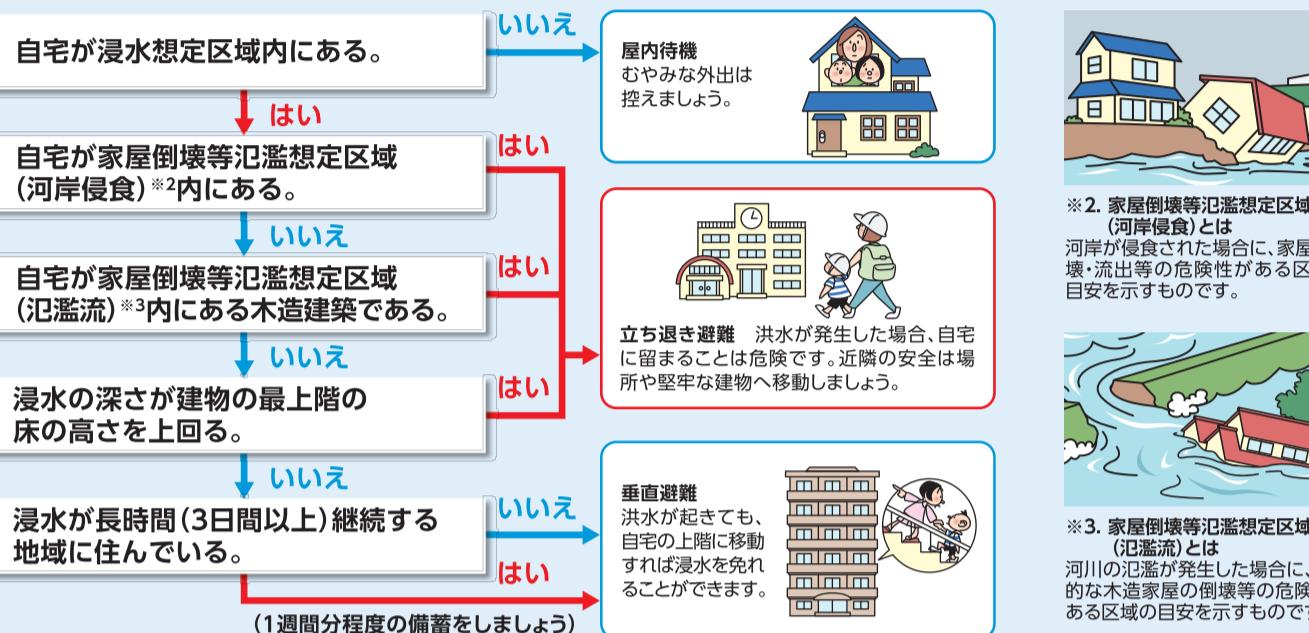
避難指示（緊急）

指示を受けた方は、ただちに避難してください。

水位に関する情報

水位	川崎市の対応
氾濫の発生	避難指示（緊急）を発令します。
氾濫危険水位	避難勧告を発令します。
避難判断水位	避難準備・高齢者等避難開始を発令します。
氾濫注意水位	水位情報を注視し、災害に備えます。
水防団待機水位	水位情報を注視し、災害に備えます。

状況に応じた避難行動



屋外に避難するときの注意点

- ・動きやすい服装を心がけ、靴はヒモで締められる運動靴を履くようにする。
- ・長靴は足を取られる危険です。
- ・非常持出品（飲料水、食料、貴重品など）は、リュックサックなどに入れ、両手で使えるようにする。
- ・夜間や停電^②などで周囲が暗い場合には懐中電灯を用意する。
- ・やむを得ず浸水している場所を移動する場合に備え、杖などを用意する。
- ※浸水している場合は、蓋の開いたマンホールや水路、側溝などへの転落の恐れ等があり、足元の安全確保が必ずあります。

助け合い（共助）

- ・近くにお住まいの高齢者、障害者、妊婦、乳幼児、外国人、または旅行者などへ避難することが難しい方がいます。日ごろから近所でコミュニケーションをとり、避難の際は、近隣の方々と声をかけあい協力しながら避難しましょう。

雨の降り方と災害発生との関係

※地域特性により異なる場合があります。

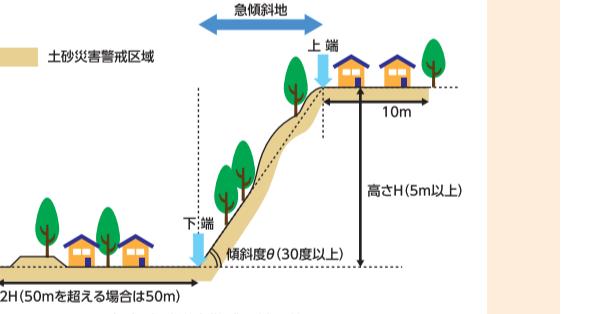
1時間雨量	状況	災害発生時のリスク
10~20ミリ	○ゲーゲーと降る。	○この程度の雨でも長く続くときは注意が必要。
20~30ミリ	○どしゃ降り。 ○車に乗りているときには、ワイパーを遠くしても前方が見づらい。	○倒溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる。
30~50ミリ	○パケツをひっくり返したように降る。 ○車での高速走行時には、ハイドロブレーキング現象が発生しブレーキが効かなくなる。	○山崩れ、崖崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。
50~80ミリ	○滴のようにゴーゴーと降り続く。 ○これに車の運転は危険。	○都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場所がある。 ○マンホールから水が噴出する。 ○土石流が起こりやすくなる。
80ミリ以上	○息苦しくなるような圧迫感がある。 ○恐怖を感じる。	○雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。

※雨の降り方が強いくらいの場合でも、長時間、広い範囲で雨が降る場合は、洪水の危険が増加します。

がけ崩れから身をまもる

土砂災害警戒区域とは

- 「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（通称：土砂災害防止法）」（平成13年施行）に基づき、土砂災害への注意が必要な区域として、一定規模を越える斜面及びこれに接する区域を、神奈川県が「土砂災害警戒区域」に指定しました。
- 土砂災害警戒区域は、土砂災害の種類に合わせて「急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）」「土砂流」「地すべり」に分類され指定されていますが、川崎市における土砂災害警戒区域は全て「急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）」に分類されています。



※土砂災害警戒区域は土砂災害の発生が必要な区域を市民のみなさまに認識していただき、大雨等による土砂災害への警戒が必要な時には、日々の判断で安全を確保していただきながらおこなってください。

※区画に指定されることが難解な地形を示しているということではありません。

※川崎区は対象となる斜面が存在しないため、区域の指定は行われておりません。

急傾斜地崩壊危険区域とは

- 急傾斜地崩壊危険区域とは、がけ崩れにより相当数の居住者等に危害が生ずるおそれがある急傾斜地と、がけ崩れが助長・誘発されないようにするために、切土、盛土など一定の行為を制限する必要がある土地で、「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律（急傾斜地法）」に基づき神奈川県知事が指定した区域です。
- 急傾斜地崩壊危険区域の指定基準は、急傾斜地法等により定められています。

がけ崩れからの避難

- 土砂災害警戒区域の中にいるときに、避難に関する情報が発せられたときには、ただちに安全を確保することが必要です。
- このとき、天候や自身の状況により、柔軟に行動を変えることができるよう、次の方法を参考に、適切な避難場所の確保などの準備しておくことが大切です。

避難に関する情報

避難準備・高齢者等避難開始

お年寄りや身体の不自由な方など、避難に時間が要する方は避難を開始してください。その他の方へ避難の準備を整えてください。

避難勧告

災害発生が予想される地域の方に避難を勧めるものです。

避難指示（緊急）

指示を受けた方は、ただちに避難してください。

日頃の備え

家庭備蓄の充実

- 災害時には、ライフライン機能の低下など都市機能の低下が考えられます。そのため、各家庭で最低3日間、出来れば7日間、自宅で過ごせる用意をしましょう。

（飲料水）・飲料水は1人1日3リットル必要です。

・ペットボトルなどで、家族全員の分、用意しておきましょう。

（食 料）・お米や乾燥食品など、日持ちのするものとなるべく多く用意しておきましょう。

・普段の生活の中で十分に買いつけて、賞味期限が来る前に消費しながら定期的に買いつけて、無理なく備蓄ができます。（=ローリングストック）

（その他）・カセットコンロ（ボンベも忘れずに）、簡易トイレ（汚物処理袋）などを用意しておきましょう。

※下記はあくまで一例です。各家庭の事情に合わせたものを用意しましょう。

水・食料	<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> 携行食・非常食	<input type="checkbox"/> *ビスケット・缶詰など
医療・衛生	<input type="checkbox"/> 服用している薬	<input type="checkbox"/> 救急衣料品	<input type="checkbox"/> 生理用品
貴重品	<input type="checkbox"/> 現金	<input type="checkbox"/> インサート	<input type="checkbox"/> 健康保険証・預金通帳
安全対策	<input type="checkbox"/> ヘルメット・防災靴	<input type="checkbox"/> 厚底の靴	<input type="checkbox"/> 車手
道具類	<input type="checkbox"/> 携帯電話・充電器	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> 懐中電灯
衣類	<input type="checkbox"/> 上着（防寒着）	<input type="checkbox"/> 下着・靴下	<input type="checkbox"/> 電池
生活用品	<input type="checkbox"/> ウエットティッシュ・ティッシュ	<input type="checkbox"/> タオル	<input type="checkbox"/> 携帯レンジコート
	<input type="checkbox"/> 土砂災害警戒区域等に関すること	<input type="checkbox"/> ゴミ袋・ボリ袋	

ハザードマップの使い方

① 自宅を見つけましょう

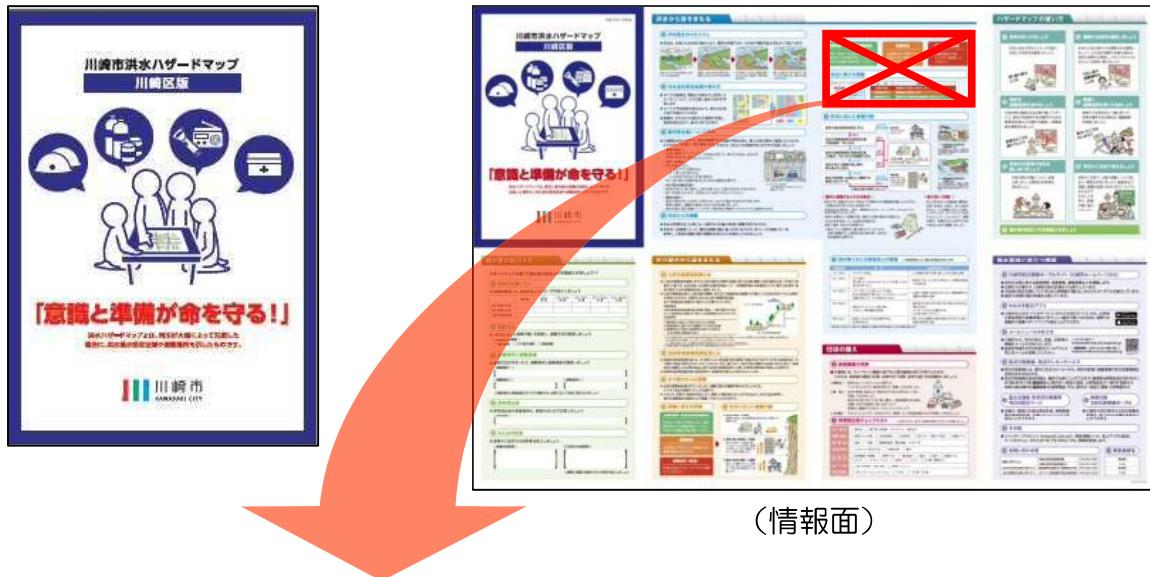
自宅に洪水が来るごとに、がけ崩れが起こる可能性を確認しましょう。

洪水ハザードマップ(川崎区版)の変更について

洪水ハザードマップについて、平成29年5月の作成以降、法令の改正などにより記載内容に変更が生じております。ご覧の際は、最新の情報をご確認ください。

①避難情報の変更

災害対策基本法の改正により、令和3年5月20日から避難情報が変わりました。これに伴い、洪水ハザードマップ(情報面)の一部を変更しました。



② 避難情報と防災関係情報

警戒 レベル	避難行動等	避難情報等	防災関係情報		
			水位	洪水	降雨
5	既に災害が発生又は切迫している状況です。 <u>命を守るための最善の行動を取りましょう。</u>	緊急安全確保 (川崎市が発令)	氾濫の発生 または切迫	氾濫発生情報	大雨 特別警報
<p>~~~~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~~~</p>					
4	危険な場所から全員避難しましょう。	避難指示 (川崎市が発令)	氾濫危険水位	氾濫危険情報	土砂災害 警戒情報
3	避難に時間を要する人（ご高齢の方、体の不自由な方、乳幼児等）とその支援者は危険な場所から避難しましょう。 他の人は避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難 (川崎市が発令)	避難判断水位	洪水警報 氾濫警戒情報	大雨警報
2	避難に備え、ハザードマップ等により自らの避難行動を確認しましょう。	大雨注意報等 (気象庁が発表)	氾濫注意水位		
1	災害の心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発表)	水防団待機水位		



②避難所の変更

指定緊急避難場所(洪水)の指定基準の見直しにより、令和3年6月8日から一部の避難所の避難階を変更しました。



③水位計・カメラの追加

最新の水位計・カメラの設置箇所については、市ホームページをご確認ください。

URL : <https://www.city.kawasaki.jp/530/page/0000107830.html>



(川崎市ホームページ)
水位計・カメラ

○お問い合わせ先

洪水ハザードマップ全般に関すること	建設緑政局道路河川整備部河川課	044-200-2902
避難に関すること	総務企画局危機管理室初動対策担当	044-200-3682
避難所の変更に関すること	総務企画局危機管理室危機管理計画担当	044-200-0337

(令和3年6月)